

除染用容器

指定廃棄物(第三部) / 除染廃棄物(第四部)の
保管に安心・安全!

フレキシブルコンテナ

JIS Z 1651:2008
「非危険物用フレキシブルコンテナ」規格

収集・容器として

- ☆吊り上げ時の荷重
- ☆くり返しの吊上げ
- ☆万一の落下

保管用容器として

- ☆段積時の加圧



ランニング形



安心・安全のしるし

『廃棄物関係ガイドライン』
(平成23年12月 環境省)に適応



クロス形

FLEXIBLE CONTAINERS

除染用（高耐候性）のフレキシブルコンテナ ～まずは、JFCマークで確認を～

日本フレキシブルコンテナ工業会では、環境省からの依頼を受けて除染用の容器として新たに「除染関係ガイドラインに沿ったフレキシブルコンテナ標準仕様」を作成し、環境省に提出しました。

フレキシブルコンテナ（以下FC）は通常、粉粒体の輸送・保管容器として使われていますが、今回は、除染目的のFCを製品化できないかと環境省から問合せがあり、工業会として技術委員会が中心となり作成したものです。



原発事故による汚染土壌の除去と言う観点から、汚染土壌に対し、

- ①FCによる汚染土壌の収集、仮保管場所への運搬、そして仮保管^{※注})
- ②3年程度の仮保管の後に、そのFCを使い、中間貯蔵施設等への搬送をする

上記前提に基づき今回の「FC標準仕様」をまとめたものです。

この標準仕様の必須条件は

- ①工業会員が仕様規格に基づいて製造した製品であることを証明するために、JFCマークの付いた「品質保証ラベル」を貼付、または印刷し、なおかつ「除染用」、「高耐候性」、「UV」などの文字を入れること
- ②これまでのFC製品同様、仕様規格の型式を工業会に登録することを義務付けている

※注) 除染関係ガイドラインに沿って、シート等でFCを覆ってください。

またわかり易くご理解いただくために「Q&A」を作成いたしました。

Q1 フレキシブルコンテナとは？

粉粒体を大量輸送することを目的に、折り畳みができる柔軟性の材料を用いた袋状のコンテナです。大別すると、長期間繰り返しを使用することを目的として造られたランニング形と、1回から数回の使用を目的として造られたクロス形があります。

Q2 日本フレキシブルコンテナ工業会（以下、JFCと示す）とは？

加盟しているメーカーが、会員、使用者の便宜を図るために、JFCラベルの発行、取扱説明書の発行、JIS規格の制定・改正、PL法の批准により賠償責任保険制度の整備を行い、さらに安全作業基準策定の協力などを行っている任意団体です。



Q3 JIS規格に適合とは？

「JIS Z 1651：2008 非危険物用フレキシブルコンテナ」規格のことです。材料、構造、設計要件、製品試験及び表示について規定しています。JIS規格に適合とは、JIS規格に示される多くの規定をすべて満足する製品について言います。

Q5 JFCの生産物賠償責任保険制度とは？

会員メーカーの製品が原因で起こった人身事故や物的事故などに対して総額20億円を限界に工業会が補償するものです。

Q6 耐候性は？

除染用バッグは耐候性試験900時間で残存強度率を初期強度の70%以上保持することで耐候性に対応しております。

Q7 防水性は？

ランニング形フレキシブルコンテナは防水性を有しております。クロス形は主に縫製により製造されているため、水を通したり、細かい粉体の粉漏れが起きたりすることがあるため、内袋の装着によりこれを防ぐ事が可能です。

Q9 大型土のうとクロス形の相違点は？

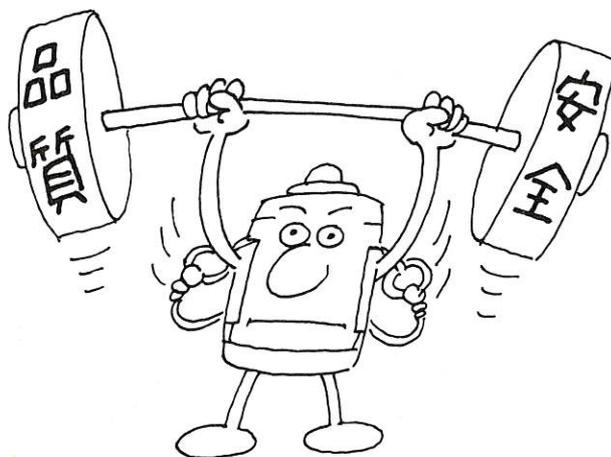
外観は似ていますが、品質基準、使用目的が異なります。クロス形はJIS規格があり、一定水準の品質を満足する安定した製品です。一方、大型土のうは公的な基準はなく、目的は、土を充填して土木現場に仮設するためだけです。そのため、再つり上げは想定されていません。また紫外線に対するの考慮がされていないため、紫外線が強い場合、短期間でも劣化する恐れがあります。

Q10 耐候性大型土のうとの相違点は？

耐候性大型土のうは、透水性のある設計基準でつくられています。またフレキシブルコンテナはJIS規格があり、JFCマークが付いた一定水準の品質を満たす安定した製品で、元来輸送目的に設計されています。しかし、耐候性大型土のうは土のうとしての基準はあるものの、輸送容器としての基準はありません。両者を比較する際、充填質量や安全率などの基礎となる元々の考え方が双方で異なることに注意して下さい。

Q4 JFCの除染用フレキシブルコンテナとは？

JFCが『廃棄物関係ガイドライン』（平成23年12月環境省）に沿って定めたフレキシブルコンテナのことです。除染時に発生する除去土壌や汚染廃棄物を充填することを目的としたフレキシブルコンテナです。対象製品には、JFCの品質基準をクリアしている保証の意味でJFCマークが付いています。



Q8 輸送・保管容器としての安全性は？

フレキシブルコンテナはランニング形、クロス形を問わず、JIS規格の「繰返し頂部吊り上げ試験」、「圧縮・積重ね試験」、「落下衝撃試験」による厳しい性能試験を受けているため安全です。各当製品にはJFCマークが付いています。



JFC 品質保証ラベルの表示

通常のFC製品と識別するために「除染用」「高耐候性」「UV」などの文字を入れています。

品質保証



商品名

会社名

RJ1-BE-M-4-1500 - 除染用
 コンテナ容積 - 1000ℓ 充てん質量 - 1500kg
 安全使用荷重 14700N 積重ね段数3段 00.00

品質保証



商品名

会社名

RJ1-BE-M-4-2000 - 除染用
 コンテナ容積 - 1000ℓ 充てん質量 - 2000kg
 安全使用荷重 19600N 積重ね段数3段 00.00

取扱い上の重要注意事項

安全使用荷重 N
 安全係数 5 : 1

日本フレキシブルコンテナ工業会

▲ランニングJ形1種の例▲

高耐候性
 クロス シングル
 品質保証
 日本フレキシブルコンテナ工業会
 株式会社

取扱いについて

警告! つり上げたバッグの下に直接入らないで下さい。
 注意 ① つり上げは、片つりにならないようにして下さい。
 ② 直接、フォークの爪でつらないで下さい。
 ③ 使用前は、日光が当たらない場所に保管してください。
 ④ 荷重が均等に均等に掛かるようにして下さい。

WARNING! Don't allow personnel under suspended FIBCs.
 CAUTION ① Don't suspend the FIBCs in unbalanced condition
 ② Don't use sharp edged fork lines directly
 ③ Avoid exposure to sunlight before using

詳細は、フレキシブルコンテナ取扱い説明書を読んで下さい。

形式分類	CSI-4BM-1500-UV
安全使用荷重(SWL)	14700 N
コンテナ容積	1000 L
充てん質量	1500 kg
安全係数(SF)	5 : 1
積重ね段数	3
コンテナの製造年月	2012-03

日本製(MADE IN JAPAN)

▲クロス形の例

高耐候性
 クロス シングル
 品質保証
 日本フレキシブルコンテナ工業会
 株式会社

取扱いについて

警告! つり上げたバッグの下に直接入らないで下さい。
 注意 ① つり上げは、片つりにならないようにして下さい。
 ② 直接、フォークの爪でつらないで下さい。
 ③ 使用前は、日光が当たらない場所に保管してください。
 ④ 荷重が均等に均等に掛かるようにして下さい。

WARNING! Don't allow personnel under suspended FIBCs.
 CAUTION ① Don't suspend the FIBCs in unbalanced condition
 ② Don't use sharp edged fork lines directly
 ③ Avoid exposure to sunlight before using

詳細は、フレキシブルコンテナ取扱い説明書を読んで下さい。

形式分類	CSI-4BM-2000-UV
安全使用荷重(SWL)	19600 N
コンテナ容積	1000 L
充てん質量	2000 kg
安全係数(SF)	5 : 1
積重ね段数	7
コンテナの製造年月	2015-07

日本製(MADE IN JAPAN)

ランニングコンテナ2種
 品質保証
 株式会社
 日本フレキシブルコンテナ工業会

取扱い上の重要注意事項

安全使用荷重 N
 安全係数 5 : 1

日本製(MADE IN JAPAN)

▲ランニングJ形2種の例

※ラベルに表示する積重ね段数は、上に積むフレキシブルコンテナの数で、最下部を含みません。例) 8段積みの場合、積重ね段数 7と表示します。

●お問い合わせ先



日本フレキシブルコンテナ工業会

〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-24-7 東京プラスチック会館ビル6F
 Tel. 03-3864-4674 Fax. 03-3864-4736